



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成27年2月

うるわし通信

地方を元気にしましょう

新春交流昼食会にご参加ありがとうございます。また平素は「うるわしの桜井をつくる会」にご協力ありがとうございます。

今年は2015年。ヨーロッパや中東では早くも残念な事件が起こっています。戦後70年、21世紀に入って15年の節目を迎えた日本は、ここ3年ぐらいで地方を元気にしておかなければならない。これについてはいろいろ意見があると思うが、日本としては戦後70年のフシメを迎えます。

日本を元気にしなければならない。日本を元気にしようではないか。というのは皆さん一致したご意見ではないでしょうか。

日本を元気にするためには、地方を元気にしなければなりません。今年は統一選挙の年ですが、ここ3年間は地方を元気にして行くことが大切だと思います。

日本は間もなく少子化の影響を蒙ることになるでしょう。18年以降、きびしい状況になるでしょう。

ここ3年間はその意味でも本当に大切な年です。ここでしっかり地方を元気にしなければなりません。雇用の8割が地方に、経済で7割が地方にあるのです。

新年に当たり、志を新たに「まちおこし」に邁進したいと思います。

うるわしの桜井をつくる会 会長 堀井良殷



公開講座開催の裏舞台

協働推進プロジェクトでもある公開講座のタイムスケジュールは“講座の発案⇒中身の検討⇒準備作業⇒講座開始”へと進むのですが、私に関わることになったのが、準備段階からです。

最初の作業として、チラシを作成しなければなりません。ラフスケッチから割り付けを起こし、必要な文言も考慮して、魅力あるチラシを作成するのはキャッチコピーで人を惹きつけるのが一番じゃないのかと考えました。しかしそう簡単には粹なキャッチコピーが思いつきません。関係者と相談しても名キャッチは浮かんできません。結果無難なところで「住んでいたい、訪ねてみたい、まちづくりとは？」に落ち着きました。

そうこうするうちにチラシが出来上がり、その表面を拡大したポスターも完成して市民活動交流拠点運営協議会の皆さんに配布し、要所に貼付をお願いしました。

このようにほぼ準備骨子が固まったところで、1月20日の運営委員会において、当日の会場設営や司会者の協力を求めねばなりません。これは危惧していたことを大きく裏切られ多数の協力を得ることができました。これで事前準備のヤマ場は越え、あとはタイムスケジュールに沿って粛々と準備作業を進めるだけです。

途中気にかかったことで、お決まりのチャンネルにしか情報提供していないパブリッシング活動に厚みを持たせるために、かつて奈良県はフリーペーパー大県といわれるほど発行会社が多く、それらのチャンネルに対し、記事として取り上げていただけるように10社以上（発行部数が5万部以上の社）、私の責任下で情報発信しました、概ねデジタル版には掲載されております。付随として広告会社数社より有料の広告掲載依頼がありましたがこちらは丁重にお断りしています。

いよいよキックオフの2月7日です。初日のトップを切って津田康英先生の講演です。一番目という事もあって少し緊張されていたような気もしましたが、しかし得意分野という事もあって、すぐに場慣れされ、段々と熱気がこもってきたのに気付いたのは私だけでしょうか、無事に1講座目を終了し、2講座目に入るときにトラブルが発生し、パワーポイントを映し出すはずのプロジェクターが動作しません、さすがに新納克廣先生も驚かれたことと思いますが、冷静な判断で講演を進められていました、さすがに教授だけあって対応が素晴らしかったです、後でお話を聞くと、協働でプロデュースした講座という事

もあり、映像がない分アドリブも取り混ぜて講演を進めたという事です。今後は危機管理の問題も少しは考慮しておくべきだったと反省もあります。次回2月21日の3・4講座目の講演は万全の態勢で臨みたいと思っています。また、講演時間中は熱心に講演を聴き入り、一生懸命メモを取る姿も見受けられ、これまでの努力が報われた気がしました。最後に、書面をお借りして、この「公開講座」開催にあたり協力をいただいた皆様に感謝の意を申し上げます。

文責 市民活動交流拠点 生川雅則



第4回新春交流昼食会

恒例の新春交流昼食会は1月24日「あるぼーる」にて、正午より開催しました。参加者は38名でした。最初に別掲の堀井良殷会長による力強い挨拶があり、その後、杉江満直氏とアマデウス大西氏による音楽とトークで楽しく進行、今年はビールを解禁し、立食にしたせいもあって、なごやかに交流、終わりにこれも始めてのお楽しみ抽選会があり、最後まで賑やかで明るい新年会でした。飲み物や賞品をご提供いただきました皆さんに、事務局一同感謝とともにお礼申し上げます。司会の山田さん・栄嶋さんごくろうさまでした。



「桜井市生活学校」新年会

～インド洋津波取材を紹介～

廃油の再利用など環境保全活動に取り組む市民団体「桜井市生活学校」（小西笙子委員長）の新年会が1月20日（火）に市中央公民館であった。毎日新聞の岩崎日出雄奈良支局長が「災害を考える」をテーマに講演し、会員ら約60人が熱心に耳を傾けた。

岩崎支局長は、阪神大震災（1995年）・インド洋大津波（2004年）・東日本大震災（2011年）の被災状況を映像などを使って紹介。ジャカルタ特派員として取材したインド洋大津波では、インドネシアのアチェ州だけで16万人以上が死亡または行方不明になったこと、多数の遺体が散らばる被災地を歩き回って取材したことなどを話した。大災害に備え、水や乾燥米飯などの備蓄を勧めた。会場では、会員の中堀禎子さんによる手作りの防災グッズを展示したほか、音羽屋菊治氏による尺八演奏もあった。

神門稔（毎日新聞より転載）



岩崎日出雄奈良支局長



防災グッズの説明をする中堀禎子さん

事務局だより

- うるわしの桜井をつくる会事務局の電話番号が変更になりました。
新しい番号は 0744-43-7773(FAX兼用)です。よろしくお願いします。
- 常任理事会は3月7日(土)午後1時30分より「市民活動交流拠点」(まほろばセンター第1研修室)で行います。

お知らせ

●図書館友の会

2月の読書会は、『銀の匙』中勘助著を読みます。
主人公は、本棚の引き出しにしまった小箱の中にある
銀の匙をきっかけに、その匙を見つけた幼年期の伯母
の愛情に包まれた日常生活を回想する。

日 時 2月24日(火)午後1時30分から

場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点

問い合わせ先 浅川 肇 TEL: 090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



●「縁結び〜赤糸の小道」講演会 参加無料

日 時 2月11日(祝)午後1時30分から

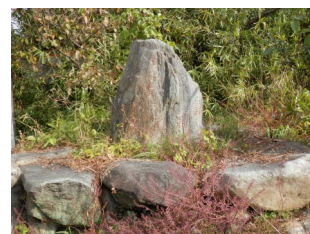
場 所 三輪そうめん山本・麺ゆう館

講 師 奈良県立情報図書館館長・千田稔氏

主 催 赤糸の小道実行委員会

協 賛 うるわしの桜井をつくる会

問い合わせ先 TEL: 090-9163-3084 藤井まで



苧環塚:手繰った苧環を埋めたとされる塚

●「縄文時代の天理」展示 入館料400円

日 時 1月5日(水)~3月2日(月)

午前9時30分~午後4時30分(休館日:火曜日)

場 所 天理参考館:天理市守目堂町250

電 話 0743-63-8414



縄文土器 縄文時代中期~後期

後記 イスラム国が日本人2名を人質として、結果は処刑された。これに関してツイッターを通じて猛烈なイスラム差別が起るのではないかと思います。日本には罪を憎んで人を憎まずという良い言葉がある。

その一方で、人を憎むな、だから罪を憎むなということになっては良くない。日本社会はここのところが曖昧だが、罪は憎むべきである。特に人命を損う行為は無論のこと、その恐れのある事柄に加担することは良くない。

例えば平和憲法を破壊しようとか、核汚染に関する事柄に手を染める罪は憎むべきだと思うのです。

(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091

桜井市桜井142-5-203

浅川 肇

TEL090-1961-6345